

【陸前高田 まちのリビングプロジェクト 概要書】

「陸前高田 まちのリビングプロジェクト」（以下、「本プロジェクト」）は、先の東北地方太平洋沖地震の津波による甚大な被害があった岩手県陸前高田市で、地域住民が気軽に立ち寄れる居場所＝まちのリビングを、地域の住民が主体となつてつくるプロジェクトです。

陸前高田市では11ある地区のうち8地区が津波で被害を受け、多くの方々が家をなくし仮設住宅での生活を送っています。また、町場のほとんどが被災したため、お茶を飲んだり、気軽に集まり話をしたりできる場所がありません。本プロジェクトは、「みな気軽に立ち寄れる居場所＝まちのリビングがあればよいな」という地域住民の発意にもとづいて実施されるものです。そして、主旨にご賛同いただける企業、地域住民、地域外の市民や専門家から支援・寄付・協力を募りながら、そうした地域コミュニティの拠点をつくります。

今回の敷地には、すでに仮設の病院、歯科医院、薬局が集まっており、地域住民の生活を支えている地域の拠点になりつつあります。まず、寒さの厳しい冬に向けて2011年末までに約10坪の仮設建築（仮設カフェ）を設置し、その中で様々な活動を試行しつつ、地域のニーズを調査します。その調査を踏まえて、恒久的な空間を計画・デザインし、2012年度には、本設建築による「まちのリビング」として建設する予定です。

仮設カフェ使用期間中には、仮設の医院や薬局が本設へと移行していきます。プロジェクトでは限られた敷地の中でスムーズに建て替えができること、また敷地全体として統一のとれたデザインとし、地域コミュニティの拠点となることを目標に掲げ、地域住民と専門家の協働で計画を進めてまいりました。計画の過程から使用者である地域住民が主体的に関わることで、運営しやすい空間をつくり、結果的に長く利用される場の創出を目指しています。

本プロジェクトのポイント

◇ 住民発意型のプロジェクト	➡ 「地域の憩いの場を作りたい」という地域住民の発意に基づく。
◇ コミュニティ空間の再生	➡ 震災によって失われていた、人々が気軽に集える空間を創出する。
◇ 将来的な拠点化が見込まれる立地	➡ すでに高台地域の拠点となりつつある土地を利用する。
◇ 産・学・市民の協働体制構築	➡ 民間企業・専門家(大学)・地域住民が協働して取り組む。
◇ 住民主体による運営	➡ 住民自らが、地域で活動する団体や個人と連携して運営を担当する。
◇ 東北産材を利用した木造建築	➡ 東北産材を利用した、暖かみのある木造建築を採用している。
◇ 仮設 - 本設プロセスの実践	➡ 仮設での実験的運用から本設建築への段階的移行を目指す。

これまでの経緯・今後のスケジュール

- 2011年 5月 医院・歯科医院・薬局 仮設店舗で営業再開
- 2011年 8月 まちのリビングプロジェクトチーム発足
- 2011年 12月 仮設カフェ建設
- 2012年 1月 仮設カフェオープン予定
- 2012年 12月 本設リビング（まちのリビング）竣工予定

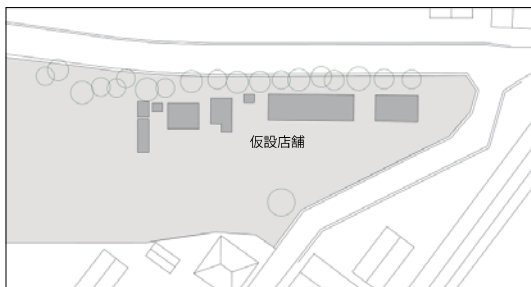


全体計画

プロジェクトの対象敷地では、震災後間もない頃に仮設店舗を利用した商店や医院が立地しました。周辺に仮設住宅も多いこの地域で、今後も医療に対する切実なニーズがあること、また、施設環境の充実が求められることから、現在同じ敷地内で、医院・歯科医院・薬局が仮設店舗での営業を継続しながら、恒久建築の建設をスタートさせています。

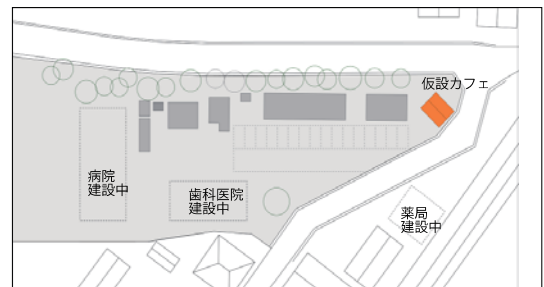
本プロジェクトでは、これらの建築の配置・カラーコントロール・恒久建築移行後の駐車場の取り方などを設計し、最終的に敷地全体が一体となるような計画を目指しています。以下は建て替わりのプロセスを示す図です。

2011年5月



仮設の店舗で営業が再開されました。

2011年12月



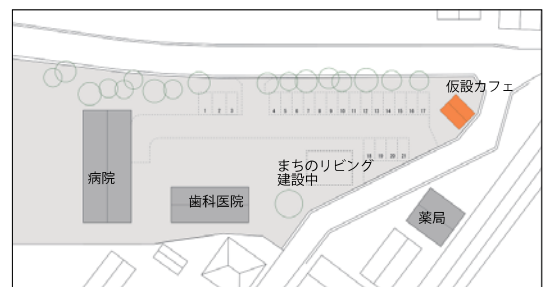
病院や薬局が建設される中、敷地の端、最も目立つ場所に仮設カフェを建設します。

2012年12月（予定）



敷地の中心にまちのリビングが建ち、ランドマークとして、地域のみなさんの活動の場として、できるだけよい環境をご提供できないかと考えています。

2012年8月（予定）



病院や薬局が竣工したら、仮設カフェでの活動を継続しつつ、本設の「まちのリビング」の工事が始まります。

陸前高田まちのリビングプロジェクト メンバー

▼現地運営・管理メンバー：

鵜浦淳子、及川恵里子、黄川田尚子、吉田和子
(以上、clatz・take (クラッツ・テイク) メンバー)
鵜浦章、黄川田信一、吉田正紀

▼専門的支援メンバー：

小泉秀樹 (東京大学 准教授)
成瀬友梨 (東京大学 助教)
猪熊純 (首都大学東京 助教)
後藤智香子 (UDCK ディレクター)
阿礼めぐみ (成瀬・猪熊建築設計事務所)
似内遼一、松田悠暉、
大宮透、的場弾 (東京大学大学院)
藤井和哉、福島紘子 (首都大学東京大学院)

▼特別協力：

土谷貞雄 (HOUSE VISION)

仮設カフェ協力企業

▼協力企業代表：

住友林業株式会社 (木部材供給および施工全般)

▼部材協力および施工：

旭化成建材株式会社 (断熱材：ネオマフォーム)
越井木材工業株式会社 (外壁・ウッドデッキ：サーモウッド)
住友林業緑化株式会社 (樹木)
ダイキン工業株式会社・ダイキンHVACソリューション東北株式会社
(ルームエアコン、電気給湯器：エコキュート)
株式会社タナカ (構造金物：SSマルチ)
株式会社タニタハウジングウェア (金属製雨とい：スタンダード)
株式会社吉岡 (金属屋根材：ウッドピース)
YKK AP株式会社 (窓・開口部：APW311 他)
株式会社ワイスワイス (ダイニングチェア)
(50音順)

プロジェクトウェブサイト

<http://rikucafe.com/>

以上